

本部広報2020-019

2020年12月11日

2021年度税制改正大綱について 自動車ユーザーの負担軽減と自動車税制の簡素化を 引き続き強く求める

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 藤井一裕）は、このたび自民・公明両党により決定された2021年度税制改正大綱について、次のとおり声明を発表しました。

JAFは2021年度税制改正に向けて、今夏に実施した自動車税制に関するアンケート調査による過去最高の回答者数（170,097名）の声をもとに、過重で複雑かつ不合理な自動車税制の見直しを求めてきたが、今回、発表となった2021年度税制改正大綱においても、自動車税制の抜本的な見直しが先送りされ、公平・公正・簡素な自動車税制の実現にはほど遠い状況にあり誠に遺憾である。

自動車ユーザー全体の税負担の軽減がはかれるよう自動車税の引き下げは新車だけでなく現在保有している車も対象にし、減税額をもっと大きくすべきである。

また、自動車重量税やガソリン税等に上乘せされている、いわゆる「当分の間税率」をはじめ、一定期間経過した車に一律に課される重課措置、ガソリン税のTax On Tax等の問題についても早急に解消すべきである。

JAFは、引き続き、自動車ユーザー全体の税負担の軽減と簡素な自動車税制の抜本的な見直しを強く要望していく。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館